

Ethachinmate (エタ沈メイト)

I. 製品説明

本品は、核酸 (DNA 及び RNA) をエタノールまたはイソプロパノール沈殿させる際に使用する高分子キャリアーです。

本品を使用すると、希薄な核酸溶液から定量的に、微量な核酸を回収することができます。また、エタノールやイソプロパノールを加えた後の -20°C (あるいは -80°C) での冷却が不要なので、ただちに遠心することができます。回収した核酸は緩衝液等に溶解し、そのまま各種酵素の基質として使用できます。

II. 保存

$2-10^{\circ}\text{C}$

III. 添付品

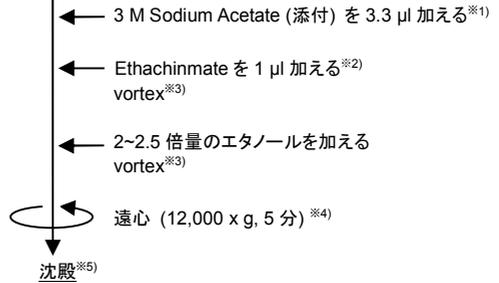
3 M Sodium Acetate 1 本

IV. 注意

Ethachinmate 存在下での大腸菌の Transformation は影響を受けませんが、*in vitro* packaging では、packaging 効率が低下することがあります。また大腸菌に導入する ligation product 溶液中に、Ethachinmate、PEG6000、polyamine が混在する場合、形質転換効率が低下することがありますのでご注意ください。

V. 使用例

DNA 又は RNA 溶液 (100 μl)



※1) 塩濃度は終濃度 0.1 M 以上とする。

※2) Ethachinmate は DNA 又は RNA 溶液 100 μl 当たり、1 μl 加える。ただし、溶液量が 300 μl 以上の場合には 3 μl あれば十分である。また、上記の操作を再び行う場合、Ethachinmate を追加する必要はない。(繰り返し Ethachinmate を加えると DNA 溶液が粘稠になり、以後の操作に支障を来す場合もある。)

※3) vortex を十分行うことにより、微量 DNA でも定量的に回収できる。

※4) 必ずしも冷却の必要はない。

※5) 沈殿は目で確認できる。別の緩衝液等に溶解し、そのまま各種酵素の基質として使用できる。また、必要に応じて 70%エタノールで洗浄する。

本品は、試薬(試験研究用)として販売しているものです。
医薬品の用途には使用しないでください。